

重点事務事業進行管理表

年度	令和4年度	No.	1	進行管理者		企画財政部長	
事務事業名	行政デジタル化推進事業（電子申請サービスの推進）						
事業の概要	市民サービスの利便性の向上及び業務の効率化を図るため、ぴったりサービス及び東京電子自治体共同運営電子申請サービスを活用し、電子申請サービスの拡大を図り、行政手続のオンライン化を推進する事業						
これまでの経過	<p>電子申請サービスについては、これまで武蔵村山市第五次情報化基本計画の推進項目などに位置付け、拡大を図ってきた。</p> <p>また、令和3年8月には、行政手続のオンライン化の進め方についての指針を庁内に示すとともに、各所管において、今後、優先してオンライン化を進めたいと考えている手続を把握し、順次その実施に向けて取組を進めている。</p>						
本年度の予算措置	総事業費	2,024千円		うち 一般財源	2,024千円		
本年度の目標	武蔵村山市第五次長期総合計画に定める目標（令和7年度末までに電子申請ができる手続の件数50件）を踏まえ、引き続き庁内に行政手続のオンライン化を促し、令和4年度中に電子申請可能な手続を更に10件以上追加する。						
上半期の計画と実績	計画	・新たに5件以上の行政手続をオンライン化（9月末まで）			実績	・新たに16件の行政手続のオンライン化を行った。	
	計画	・新たに5件以上の行政手続をオンライン化（令和5年3月末まで）			実績	・新たに38件の行政手続のオンライン化を行った。	
中間評価	達成度	目標以下		・	目標どおり	・	<u>目標以上</u>
	取組の成果	計画した目標の数値を上半期で達成することができたが、引き続き行政手続のオンライン化を推進していく。					
期末評価	達成度	目標以下		・	目標どおり	・	<u>目標以上</u>
	取組の成果	計画した目標の数値を大きく上回って達成することができたが、引き続き行政手続のオンライン化を推進していく。					
	事業費の実績	総事業費	1,969千円		うち 一般財源	1,969千円	
今後の方針	令和5年度は、プログラミング知識等がない職員でも簡易にフォーム等を作成することができる電子申請受付システム（ノーコード・ローコード電子申請受付ツール）を活用し、引き続き行政手続のオンライン化を推進していく。						